



世界の“グローバル”ソーシャルワーク教育の 現在と未来

～包摂型社会の構築にむけたグローバル・ソーシャルワークの挑戦～

地球規模で複雑化する政治、経済、社会、環境に関わる諸問題・危機は、社会的格差や様々な集団への排除の増大、難民・移民の増加、気候変動や災害による生活環境破壊などをもち、今日のソーシャルワークに多様な課題を提起している。これらの諸課題は、もはや特定の国や地域にとどまらず、国境を越えて拡大しているが、これらに対応するソーシャルワークとその教育は、いまだに伝統的で限定的な従前の方法に依拠する傾向にあることは否めない。

このような情勢をふまえ、2014年には「ソーシャルワーク専門職のグローバル定義」が改訂された。本定義では、あらためてソーシャルワークのグローバル化を確認するとともに、ソーシャルワークが身近な地域社会で培われる生活文化や「知」のうえに成立する極めてローカルな営みであることを指摘した。また、多様性の尊重や専門職の“脱植民地化”への課題も提起された。このように、今日のソーシャルワークは、グローバルでありながらローカルでもある、両者の相互作用的な関係性をふまえる“グローバル”な視点と方法を備える必要がある。さらに、本年はICTやSNSなど今日的なコミュニケーション・ツールの使用も視野に入れた、新しい「グローバル・ソーシャルワーク倫理原則」の原案が提示され、各国で議論が進行中である。

グローバル化とローカル化が同時に進行する、“グローバル”ソーシャルワークは、いかに教授され、実践されるのであろうか。本セミナーでは、これらの問いを世界の国際ソーシャルワーク教育の最前線にいる識者らとともに議論する。

とき

2019年

会場

参加費

1月13日

明治学院大学

1,000円

3号館1階 3202教室

(資料代)

14:00～17:00 (セミナー) 参加費：1,000円

●あいさつ

Annamaria Campanini (アナマリア・カンパニーニ)

(IASSW 国際ソーシャルワーク学校連盟会長 / ミラノ大学教授)

●シンポジスト

Darla Spence Coffey (ダーラ・スペンス・コフィー)

(IASSW 米国代表理事 / 全米ソーシャルワーク教育協議会 (CSWE) 会長 & CEO)

Tan Ngho Tiong (タン・ノー・ティオン)

(IASSW 財務担当理事 / 元国際ソーシャルワーカー連盟副会長 / シンガポール社会科学大学教授 / Social Work Global Institute 委員長)

Nino Zganec (ニーノ・シュガネツ)

(欧州ソーシャルワーク学校連盟会長 / クロアチア・ザグレブ大学教授)

Augusta Yetunde Olaore (オーガスタ・イェトゥンデ・オラオーレ)

(IASSW 執理事 / ナイジェリア・バグコック大学ソーシャルワーク・人間サービス学部長)

Mie Ohwa (大和 三重)

(IASSW 前日本代表理事 / 関西学院大学教授)

●コーディネータ

Junko Wake (和気純子) (IASSW 日本代表理事 / 首都大学東京教授)

●閉会あいさつ

Yasuhiro Kuroki (黒木 保博) (ソ教連国際担当理事 / 同志社大学教授)

同時通訳
あり

プログラム

17:30～19:30 懇親会 …別途参加費：3,000円 (大学本館10階大会議場)

主催：国際ソーシャルワーク学校連盟 (IASSW) / 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟 (JASWE)

共催：日本ソーシャルワーク学会 / 日本社会福祉教育学会 / 淑徳大学アジア国際社会福祉研究所

後援：日本社会福祉系学会連合 / 日本ソーシャルワーカー連盟 (JFSW：公益社団法人日本社会福祉士会 / 公益社団法人日本精神保健福祉士協会 / 公益社団法人日本医療社会福祉協会 / 特定非営利活動法人日本ソーシャルワーカー協会) (予定)

【お問い合わせ】ソ教連事務局：03-5495-7242 / kenshu@jaswe.jp 詳細はホームページ www.jaswe.jp に後日掲載します。